

うらばなし 3

はいゆう

# 「衣装で言えば…薄井さん（笑）」

## 「あれは盲点でした」

「父親役の薄井伸一さんは、事務所の大先輩です。いつも呼んでくれと言われて、協力してもらつて」



石山 お父さん役の薄井伸一さんは、僕達の事務所の大先輩です。OR→Pで初めてコンテストに応募した作品を、薄井さん主演で撮らせてもらつて。その時からいつでも呼んでくれと言われて、協力してもらっています。

土井 お母さん役の土屋直子さんは、松下とのつながりで。

松下 一度舞台で共演した時、OR→Pの話をしたら、作品を観てくださって。是非使ってと言われました。

土井 フロフィール送ってきたから（笑）

松下 Dそうそう！マジ！？みたいな（笑）ラインで皆に送ったら、是非使おうって。

土井 タイミングも良かったね。

松下撮影の3週間前ぐらいで。

土井 娘役の河西美季さん…ララちゃんって呼んでるんですけど、彼女は僕が事務所に所属していた時の同期で、誘った感じです。子役の古川あかりちゃんは歌をやっていて、僕の知り合いの歌手の生徒さん。今回子役が欲しくて、顔見知りだし、お芝居にも興味があるようだったので、声をかけました。

シユ 彼女はすごく可愛かったです。

土井 大人はメロメロになりました。

石山 僕と松下は、あかりちゃんの父親と母親役なのに、もう役じゃないと。

松下 幸せだった（笑）

武田 カメラ持って追いかける、運動会のお父さんって感じ。

シユ あの子の役割って、すごく重要ですよね。

土井 そうですね。あかりちゃんは、その場でのお芝居の空気感に馴染めるところがあつて、そこがまた良かった。いい味出してくれました。

シユ 玉さんの作品も入れると5作品になるんですが、3日間でよく撮れたなと思いました。「にちじょう」の撮影当日、愛川町に来たのは何時頃だったんですか？

土井 東京を朝6時頃に出て、8時頃愛川町に到着しました。

石山 基本的に日が暮れるまでに撮り終えないといけないから、山十邸が使える午後5時がタイムリミットでした。

土井 午前中に石山さんの「愛を描く」を撮って。

石山 午前中は曇っていたのに、山十邸に入った瞬間に晴れやがった（笑）僕は箕輪耕地の輝いた稻穂を取りたかったのに！すっーと曇り。

C D かわせみ大橋をバックにしたシーンは素敵でした。

石山 箕輪耕地は、松下さんの「ありふれた話。」でも使われてましたね。

石山撮影の手間とか考えて、欲しい景色が被ったので、そこで撮影しようと。僕の作品は2時間ぐらいで撮りきって、山十邸へ向かいました。お昼はコンビニで貰つたいたウイダーインゼリーとか、片手間で。

石山 土井も大変でしたね。あの日は午前中に出演して、午後からは監督でしたから。

シユ 衣装は自分たちで用意したんですか？

土井 役者にイメージを伝えて何パターンか持ってきてもらって、当日衣装合わせをする感じでした。ララちゃんは下が広めの半パンだったんですけど、撮る度にパンツが見えそうになる（笑）すごく艶かしかったので変えてくださいと。家族よりそっちに目が行くみたいな（笑）あ、衣装で言えば…薄井さん（笑）

石山 あれは盲点でした。

土井 事前にイメージを伝えていなくて…僕が来ていた服を着てもらいました。

石山 実は、「愛を描く」の土井と、「にちじょう」の薄井さんの上の服は同じ（笑）

松下 薄井さん、私服がすごくお洒落で。当日もしゃらしゃらした感じだった（笑）

石山 これ着てきただけど、いいのかなって。

土井 ミックジャガーみたいな。それ、父親像に合つてないからこれ着てくださいと。

石山 あれはやらかしたねー。

土井 でも、黒い服でもいいと思っていて。薄井さんが持ってきた服が合わなくても、自分の服があればいいやと。でもまさか、言ってないとは思わなかつた（笑）

石山 逆に言っていると思い込んでいるところが（笑）

土井 「愛を描く」にしても、完成台本をララちゃんに送ったものと思い込んでいて、持ってきた台本が未完成のままで全然セリフ違うじゃんと。冷や汗かきました。

シユ セリフ合わせも口で初めてした感じですか？

土井 そうですね。

石山 行ってドン！みたいな。

シユ 山十邸での撮影はどのぐらいかかったんですか。

石山 3時間ちょっとぐらいです。午後3時半には撮り終わりました。

武田 秋口で、陽の傾きもけっこう早かったので…

土井 てきばきと撮りましたね。

石山 てきばきしてたねー、本当。



にちじょう 出演・撮影・編集  
石山 和史（いしやま・まさふみ）

1980年生まれの38歳。秋田県出身。志事務所所属。大学在学中から俳優活動を始め、これまで、映画やテレビドラマ・テレビCM、舞台等出演多数。映像制作チームOR→Pの代表を務め、ほぼ全ての作品の編集も担当。第2回愛川レッドカーペットでは、監督作品「愛を描く」がファイナリスト作品に選出される。特技は殺陣・料理。趣味は登山・キャンプ。

「実は、『愛を描く』の土井、『にちじょう』の薄井さんの上の服は同じ」